

# 報道発表

【令和4年11月2日】

COCORONOMICHI



COCORONOMICHI  
Seaside Town Onomichi

尾道市企画財政部政策企画課  
政策企画係（担当）應治（おうぢ）・土井  
電話 〔直通〕(0848)38-9316  
〔代表〕(0848)38-9111  
〔内線〕 356  
FAX (0848)37-2740  
E-mail kikaku@city.onomichi.hiroshima.jp  
〒722-8501 尾道市久保一丁目15-1

件名

尾道市実証実験サポート事業において、  
二次募集を行い、追加で3件の支援を決定しました。

本市では、地域課題の解決、豊かな市民生活の実現に向けて、スマートシティを推進しています。その取組のひとつとして、地域における先端的なデジタル技術の活用、新規産業の創出や産業の集積、ブランド力の向上を目的として、実証実験を公募しました。

令和4年8月29日に公表した2件に加えて、3件の実証実験について、実証実験に係る費用やシェアオフィスの利用、実証実験フィールドの提供等のサポートを行うことと決定しましたのでお知らせします。

## 1 決定事業者

	事業者名	取組内容	補助金額
1	RED 地方創生 WEB3 推進プロジェクト（東京 e スポーツゲート株式会社（東京都）、株式会社 Project K（東京都）、株式会社 AREA81（東京都）、株式会社フューチャーリンクネットワーク（千葉県）、株式会社鉄道広告（尾道市）、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ（東京都） 【問い合わせ先】 東京 e スポーツゲート株式会社 CTO 小林 学 03-6419-7183 w-pr@w-tokyo.co.jp	WEB3 の仕組みを用いて尾道の様々な魅力に基づく”尾道ファンコミュニティ”を構築し、尾道の〇〇が好き、を起点としたコミュニティ形成から尾道の活性化を図る。その際、既知の魅力だけでなく、域外・海外の人から見た魅力も意識することで、尾道のポテンシャルを開放するとともに、コミュニティへの参加者を増やしていく。今年度においては、1st ステップとして、「サイクリング」にフォーカスし、NFT によるコミュニティ構築の可能性を検証する。	2,000 千円
2	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ（東京都） 【問い合わせ先】 社会基盤ソリューション事業本部 デジタルコミュニティ事業部 第一ビジネス統括部 スマートコミュニティ担当 松田翔悟 050-5546-8371 sc-contact@kits.nttdata.co.jp	「子どもの読書活動の重要性」と「読書活動の現状」を踏まえ、デジタル技術を活用し、「学習用タブレットの活用による主体的、意欲的な読書活動の機会創出」「学校や地域で所蔵する豊富な蔵書の中から良書との出会いの創出」を実現する。	617 千円

3	株式会社カタオカ（尾道市） 【問い合わせ先】 寺垣智也 0848-20-3611 t.teragaki@onomichi-kataoka.jp	人工知能（AI）を用いた人物の行動検知によるスマートシティの創出。カメラ映像による骨格情報を用いた情報伝達サービスと、現場に応じたカスタマイズが可能。今回の実証実験では、バス内での人物検知を行う。	800 千円
---	---	--	-----------

※補助金額は、交付予定額であり、実証実験終了後の実績報告により補助金額を確定します。

## 2 事業スケジュール

実証実験期間 令和5年2月まで

成果発表会 令和5年3月（予定）

<参考：令和4年8月29日公表済みの決定事業者>

	事業者名	取組内容	補助金額
1	株式会社ジョルテ（東京都） 【問い合わせ先】 井上正代 03-6804-6988 info@jorte.co.jp	地域コミュニティや観光客向けの各種イベント情報をデジタル化し、カレンダーに集約することで情報を届ける仕組みを提供します。カレンダーを活用して情報を共有することで、新たな行動を生み出すとともに、地域・人・サービスの新しい「つながり」を作り出します。	998 千円
2	ためま株式会社（広島市） 【問い合わせ先】 和田菜水子 080-3895-0354 cs@tamemap.net	地域の小さな情報を最低限の労力で発信し、それを個々人の必要とするタイミングで簡単に受け取ることができる新たな地理認識型情報基盤サービスにより、SNS やチャットツールを越える地域参加を実現します。これにより、市民の諸課題を解決し、持続的な Well-being につなげます。	1,730 千円

※補助金額は、交付予定額であり、実証実験終了後の実績報告により補助金額を確定します。